

目 次

はじめに 脱炭素社会の実現に向けて	1
1 計画策定の背景・目的	1
2 計画の基本的事項	3
第1章 地球温暖化に関する国内外の動向	7
1-1 地球温暖化の現状	7
1-2 地球温暖化に関する国内外の動向	9
第2章 熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の振り返り	17
2-1 旧計画における温室効果ガスの排出状況	17
2-2 旧計画におけるこれまでの取組・今後の課題	19
第3章 地球温暖化に関する都市圏の現状	31
3-1 都市圏における温室効果ガスの排出状況	31
3-2 再生可能エネルギーの状況	46
3-3 森林吸収の状況	49
3-4 気候変動による都市圏への影響	51
3-5 住民・事業者・こどもの環境に対する取組状況等	57
第4章 基本理念と目指す姿及び温室効果ガスの削減目標	64
4-1 計画の基本理念と目指す姿	64
4-2 温室効果ガス削減目標の設定	65
4-3 脱炭素に向けた課題及び排出削減の方向性	69
第5章 目標達成に向けた取組	74
5-1 施策体系	74
5-2 緩和策に関する取組	76
5-3 適応策に関する取組	100
第6章 地域脱炭素化促進事業	106
6-1 地域脱炭素化促進事業とは	106
6-2 都市圏における地域脱炭素化促進事業	107
第7章 計画の推進体制・進捗管理	110
7-1 推進体制	110
7-2 進捗管理	111

コラム

熊本連携中枢都市圏の変遷	4
地球温暖化対策計画等の概要	14
本計画における温室効果ガス排出量の見直し	18
電気の排出係数とは	18
地球温暖化対策にもつなげる交通渋滞対策	41
森林吸収量	50
削減目標の考え方	68
日常生活でできる緩和策	76
住宅用太陽光発電の導入による CO ₂ 削減効果	80
省エネルギーに取り組む目的	80
地球温暖化対策に資する都市のコンパクト化とウォークアブルな空間の形成	85
地球温暖化対策と下水処理	89
地球温暖化対策とプラスチック	89
地球温暖化対策と節水	93
日常生活でできるカーボン・オフセットへの貢献	98
日常生活でできる適応策	100